

## ICT教育による2020年代における学びの実現を目指す 「全国ICT教育首長協議会」総会・活動方針検討会を開催

2016年10月19日（水）「全国ICT教育首長協議会」の総会を開催いたしました。

当協議会は、2016年8月3日（水）に「全国ICT教育首長協議会」として発足し、現在では107自治体が加入しており、21世紀の予測困難なグローバル社会、日々加速する情報化の流れのなかで活躍する人材を育むためには、これまでの教育に加えICTを活用した新しい教育方法が有効であると考え、推進するものです。

当協議会は、文部科学省が主催する「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」（中間まとめ）においてもその意義が位置付けられております。

本日の第1部、総会においては、参加自治体代表による規約の審議、会長をはじめ役員を選出が行われ、事業計画が審議されました。

事業計画では、ICT教育全国首長サミットつくば宣言を踏まえ、地域内外の教育資源を効果的に結びつけ、教育の情報化を推進させるために自治体相互の連携を図ることが確認され、以下の事業を推し進めていくことが決定されました。

- (1)教育ICT加速化のための財源確保、制度改革等に係る国への要請
- (2)教育ICT加速化のための事業の実施（全国ICT教育首長サミット等）
- (3)都道府県・市区町村相互間の情報交換及び実践交流
- (4)その他目的達成に必要な事業（教員の指導力向上・研修の協力要請）

第2部の開会行事では、文部科学省 磯 寿生 様よりご挨拶をいただき、加速度的に変化する社会において、更に重要性を増していくICT教育のこれからについて、多くのご示唆をいただきました。

開会行事に続いて「活動方針検討会」が催され、4つの部会で活発な意見交流が行われました。自治体関係者、学識経験者、ICT関連企業の方々にも検討会の場に参加いただき、発展的かつ建設的な意見交換の場となりました。各自治体が抱えている課題についても触れられ、今後、本協議会が果たすべき役割が改めて確認されると共に、活動方針の具体化に向けた方向性の確認がなされました。

### ■ 「全国ICT教育首長協議会」総会の様子

第1回総会では、発起人代表である市原健一 つくば市長が議長を務め、11自治体の首長が役員に就任しました。

会長には佐賀県多久市・横尾俊彦市長、会計監事には、滋賀県草津市・橋川渉市長、熊本県山江村・内山慶治 村長が選出されるとともに、8名の首長の理事就任が決定しました。

また、総会の後半には、横尾俊彦会長が議長を務め、平成28年度の事業計画を審議し、本協議会の今後の方針が示されました。



＜報道関係者様からのお問合せ先＞  
「全国ICT教育首長協議会」事務局（一財）日本視聴覚教育協会内  
TEL：03-3431-2186/FAX：03-3431-2192

## 第2部

### ■ 会長あいさつ 多岐市長 横尾 俊彦

はじめに「ICT教育全国首長サミットつくば宣言」採択後の反響を受け、「全国ICT教育首長協議会」の設立までの経緯が説明されました。本協議会の趣旨としては、未来の子供たちのために行政と教育委員会が連携して、ICT教育などの教育水準の向上と魅力あるまちづくりを推進するためのものであることが説明されました。また、教育ICT加速化のための財源確保、制度改革への意気込み、将来的には300自治体の加入を目指すことも述べられました。教育ICT加速化の事業推進のため、来年2月に東京で「全国ICT教育首長サミット」を開催することが予告されました。



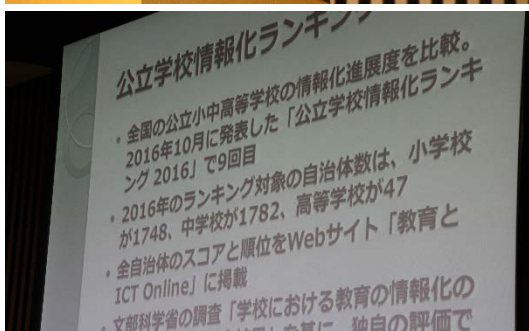
### ■ 来賓あいさつ 文部科学省生涯学習政策局情報教育課長 磯 寿生 様

文部科学省が主催する「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」において、意義を位置づけている本協議会の総会が盛大に開催されたことへ喜びの言葉を述べられました。今後、人工知能等の開発により、加速度的な変化を遂げていくことが予想される情報化社会において、未来を創り出していくための能力として情報活用能力が必要不可欠であるとお話しされ、また、問題解決のための能力をICTを活用して児童生徒に培うことの重要性についても訴えられました。同時に、学校の環境を整備することも不可欠であることや、これまでの活用の在り方を検証することで、学校教育における新たな学びを推進し、積極的に取り組む自治体を応援していきたいという、力強いお言葉をいただきました。



### ■ 『公立学校情報化ランキング』で明らかになったICT活用教育の地域格差 日経BP社 教育ICT Online編集長 中野 淳 様

「公立学校情報化ランキング」調査の実施意図についての説明と、結果から見える課題について講演が行われました。本調査は、文部科学省が行っているデータを基に、インフラの整備状況と教員のスキルをスコア化し、ランキングしたものであり、9回目を迎えます。ランキングにおける上位の自治体は良いが、下位である自治体が問題であるとの指摘がされました。このような教育格差が生じている状況は、教育の機会均等の視点から考えた際に課題であり、国が調査している項目を基にしている以上、国が目指す目標に対して、各自治体がより積極的に取り組む必要があると述べられました。そして、本調査により、各自治体が、文部科学省が示す各種目標に対して、どれぐらい到達しようという努力をしているかが明らかになるものであると述べ、実際にデータを示しながら、隣接する自治体でも生じている格差を説明されました。さらに、ポケモンGOを例に取り、数か月前には予想できなかった問題が起こることもある、特にICT教育では著作権の違反が起こりうることも指摘し、児童生徒や教職員への研修等の必要性を述べられました。



## ■ 4つの部会に分かれて活動方針検討会の実施

### 第1部会 教育の情報化に向けた政策提言

司会:つくば市教育局総合教育研究所長 毛利 靖 氏

【多久市・荒川区・葛城市】議論のポイント

- ・政府の方針を地域で実現する連携体制
- ・地域が本当に求める地に足のついた活動
- ・産業界との連動で技術情報、海外動向を

#### 参加者からの声

- 地方の自治体からの声を、もっと中央に伝える！
- 教育に特化したデバイスが必要
- ネットワークの足回りの脆弱性
- 整備計画の立案を支援するアドバイザーやコンサルタントがいない
- 企業と連携することも必要ではないか。

### 第2部会 効率的な環境整備

司会 信州大学教授 東原 義訓 氏

【岐阜市・箕面市・武雄市】議論のポイント

- ・ICT環境整備計画の策定
- ・財政部局との交渉での失敗・成功の共有
- ・低価格導入するための具体的方法

#### 参加者からの声

- 機器とネットワークのパッケージ提案が重要
- 今後、ネットワークをいかに拡充すべきか？
- 教育長同士が連携を取っている好事例の共有を
- PC教室を今後どうすべきか知りたい？
- 整備計画が整っていない、専門的なことが分かる人がいない。いい事例が交換できると良い。



### 第3部会 地域創成と教育情報化の情報発信

司会:横浜国立大学教授 野中 陽一 氏

【喬木村・山江村・西条市】議論のポイント

- ・教育へのICT活用を地域貢献をしている成功事例
  - ・過疎化を食い止めるためにICT導入による学力向上に取り組んだ
  - ・中1ギャップを阻止するために遠隔授業を取り入れた
- ・「ICT教育アワード年間表彰」の取り組み対象

#### 参加者からの声

- 地域創成につながる学校情報化の取り組みがなかなか市民に伝わらない。
- 自治体間の情報共有がない。
- Web等での公表に加え、サミットで発信したい
- 今後は、TV会議等も繋いでほしい

### 第4部会 教員の指導力向上・研修

司会:奈良教育大学教授 小柳 和喜雄 氏

【郡山市・つくば市・草津市】議論のポイント

- ・協議会の初の取組として「研修モデルルーム」を
- ・教員研修と教員の教育ICT指導力の向上の重要性

#### 参加者からの声

- 教員の指導力向上を考えた際、広域でサポートや拠点が必要。教育学部を有する大学などとの連携、企業の参画もして欲しい。
- 教員研修について、子供たちに何を求めるかが大切であり、管理職の教員の意識づけが重要。
- うまくいっているところは、情報教育という意味でWeb上で指導案を共有していたり、小中一貫教育、義務教育学校、中学校ブロック間での共有も大切であろう。



# 「全国ICT教育首長協議会」第1回総会 概要

- 名称 「全国ICT教育首長協議会」総会
- 日時 2016年10月19日（水）14時30分～17時00分
- 会場 機械振興会館  
(〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8)

- 役員
- |      |             |        |
|------|-------------|--------|
| 会長   | 佐賀県多久市長     | 横尾 俊彦  |
| 理事   | 福島県郡山市長     | 品川 萬里  |
| 理事   | 茨城県つくば市長    | 市原 健一  |
| 理事   | 東京都荒川区長     | 西川 太一郎 |
| 理事   | 長野県下伊那郡喬木村長 | 市瀬 直史  |
| 理事   | 岐阜県岐阜市長     | 細江 茂光  |
| 理事   | 大阪府箕面市長     | 倉田 哲郎  |
| 理事   | 奈良県葛城市長     | 山下 和弥  |
| 理事   | 佐賀県武雄市長     | 小松 政   |
| 会計監事 | 滋賀県草津市長     | 橋川 渉   |
| 会計監事 | 熊本県球磨郡山江村長  | 内山 慶治  |



- 次第 第1部 総会（規約協議、役員選出）\* 自治体関係者のみ出席

- 第2部 会長、理事、役員紹介

来賓祝辞 文部科学省生涯学習政策局情報教育課長 磯 寿生 様

写真撮影

『公立学校情報化ランキング』で明らかになったICT活用教育の地域格差  
日経BP社 教育ICT Online編集長 中野 淳 様

来賓紹介

活動方針検討会

第1部会 教育情報化加速に向けた政策提言

第2部会 効率的な環境整備

第3部会 地域創成と教育情報化の情報発信

第4部会 教員の指導力向上・研修

- 来賓
- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 文部科学省生涯学習政策局情報教育課長 | 磯 寿生 様   |
| 信州大学教授             | 東原 義訓 様  |
| 横浜国立大学教授           | 野中 陽一 様  |
| 奈良教育大学教授           | 小柳 和喜雄 様 |

<報道関係者様からのお問合せ先>

「全国ICT教育首長協議会」事務局（一財）日本視聴覚教育協会内

TEL：03-3431-2186/FAX：03-3431-2192